

令和7年度フッ化物応用研修会

主 催 三重県、三重県歯科医師会
日 時 令和7年7月24日（木）午後1時30分～午後3時10分
会 場 ◎Web 受講 ※Zoom ウェビナーを使用
◎会場受講（三重県歯科医師会館 2階大会議室：津市桜橋2丁目120-2）
演 題 「子どもたちの健康格差を減らすために：健康日本21（第三次）から考える」
講 師 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野
教授 相田 潤 先生

※詳細は裏面をご覧ください。

対 象 歯科医師、歯科衛生士、学校関係者、行政関係者等

申込方法 ◎Web 受講の場合

＜二次元コード＞

必ず期日までに、下記 URL または二次元コードから
お申込みください。

URL <https://forms.gle/64mPgDKHoQaKZGNG6>

登録されたメールアドレス宛、7月中旬に、研修会の
視聴方法等の詳細をご連絡いたします。



◎会場受講の場合 ＜定員：150名＞

必ず期日までに、下記、参加申込書にてお申込みください。

※先着順（定員を超え、受講できない場合に限り連絡をいたします。）

申込締切 令和7年7月9日（水） ＜参加無料＞

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前9時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載します。

※三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方は参加申込時にご連絡ください。なお、申請にあたり三重県歯科衛生士会に氏名を連絡しますのでご了承ください。

令和7年度フッ化物応用研修会参加申込書（会場受講用）

所属		電話	- -
名前	ふりがな（ ）	職種	
三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方はチェック☑を入れ、会員番号を記入してください（三重県歯科衛生士会経由）			☐ (会員番号)

＜お申込み・お問合せ先＞ 三重県歯科医師会事務局 FAX 059-227-0510

〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2 TEL059-227-6488

子どもたちの健康格差を減らすために：健康日本 21（第三次）から考える

東京科学大学大学院医歯学総合研究科
歯科公衆衛生学分野 教授 相田 潤 先生

米の値段などの物価の上昇が話題となっている。経済的な問題は、保健行動やストレスに影響し、健康格差を引き起こすことが知られている。2013 年以降、国の健康政策である「健康日本 21」に健康格差の縮小の目標が含められた。健康格差を縮小するうえで、幼稚園・保育園・こども園・学校・職場や施設などにおける、集団への対策は重要となる。どのような家庭環境にあっても、学校などに行けば健康的な恩恵が受けられるという環境の整備は、健康日本 21 でも強調されているところである。

そのような観点から、園や学校での集団フッ化物洗口は、単にむし歯を減らすだけでなく、健康格差を縮小する方法として注目され、国際的に推奨されるだけでなく、日本においても国の目標値が設定されるようになった。本講演ではこうした近年の健康格差をめぐる研究や現場での施策について説明をしたい。

【講師紹介】 相田 潤 （あいだ じゅん）

2003 年 北海道大学歯学部卒業
2004 年 国立保健医療科学院専門課程修了
2007 年 北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了
2007 年～2011 年 東北大学大学院歯学研究科助教
2010 年～2011 年 University College London 客員研究員
2011 年～2020 年 東北大学大学院歯学研究科准教授
2012 年～2018 年 宮城県保健福祉部 参与（歯科医療保健政策担当）兼務
2014 年～2020 年 東北大学大学院歯学研究科臨床疫学統計支援室室長
2020 年～2021 年 東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター地域展開部門教授（クロスアポイントメント）
2021 年～ 東北大学特任教授（客員）
2020 年～ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野教授

日本老年学的評価研究（JAGES プロジェクト）コアメンバー、口腔の健康格差の研究と政策の国際センターコアメンバー、日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会委員長などを務め、健康格差とその原因や解消方法の研究を中心に、口腔の健康と全身の健康や、東日本大震災と健康の社会的決定要因の変化と健康の研究などを行っている。